

【 農 業 委 員 】

■募集期間の中間における推薦及び募集の状況

○受付総数 14 件

○推薦を受けた者の数 10 人 (内認定農業者等の数 3人)

○応募した者の数 4 人 (内認定農業者等の数 1人)

【参考】

・募集期間 令和8年7月1日～7月31日

・募集人数 17 人

・集計日 令和8年7月31日

■大田市農業委員会委員(個人推薦)

番号	推薦を受ける者(被推薦者)									推 薦 者						
	氏 名	性別	年齢	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業 者該当の 有無	抱 負	氏 名	性別	年齢	職業	推薦する理由	農地利用最適 化推進委員へ の推薦の有無
							営農類型	耕作面積								
1	坂根 拓倫	男	45	農業	H14年3月	中央大学文学部卒業	水稻 露地野菜 果樹	田300a 畑80a	有	農業という業で大田市にいか に貢献できるか考えていきたい。	恒松 禎次	男	71	農業	長久地区において農業担い手として地 域農業に取り組んでいるので適任であ る。	無
					H17年4月	農業従事					宮脇 俊次	男	75	農業		
					R3年3月～ R5年3月	長久町東用田自治会長					清水 啓介	男	40	農業		
					R3年5月～ R5年5月	JALまね石見銀山青年連盟委員長										
					R5年6月	社会福祉法人亀の子理事										
					R6年	JALまね石見銀山総代就任										
2	郷原 美昭	男	72	農業	S48年3月	邇摩高等学校卒業	水稻 露地野菜	田1,700a 畑60a	有	これまでの自身の農業経験や地 域活動で培った人脈を生かし遊 休農地解消や意欲ある担い手農 家への農地集積、集約化に全力 で取り組む。	泉原 省三	男	81	農業	認定農家として、集落営農の主たる担 い手となり、地区基盤整備事業の取 組みをしていること、さらに、最適化推進 委員を務めるなど、井田地域農業の現 状を踏まえた活動をしている。	無
					H26年3月	大田市消防本部					厚朴 邦広	男	67	農業		
					H30年2月～	大田市農地利用最適化推進委員					下垣 勇	男	73	農業		
3	竹下 正也	男	64	農業	S57年3月	広島県立農業短期大学卒業	水稻	田550a	無	現状の農業問題「高齢化、担い 手不足、耕作放棄地」と向き合 いつつ、新しい農業、農村を「創造」 し、今世の中で必要とされるもの を形にしたい。	竹下 實則	男	77	農業	常に農業のことを考え、皆のことを思 い、仕事をしている姿を見ている者とし てまかされたいと思ひ推薦しました。	無
					H12年4月～	アグリ富山集落協定会長					幸村 義彦	男	63	農業		
					H19年6月 ～H24年6月	大田市森林組合					西山 純	男	47	農業		
					H24年7月～	農業に従事										
					H30年2月～	大田市農業委員										
					R7年～	富山町農地水保全協議会会長										
4	高木 誠	男	75	農業	S45年3月	出雲西高等学校卒業	水稻	田170a	無	川合町の農業に関して見て回り ます。	松井 功	男	79	農業	農業経営に熱心である。真面目である。 農業経営に関して、一生懸命携わっ ている。	無
					S49年～ H28年8月	大田石油株式会社退職					小林公司	男	73	農業		
					H28年9月	農業に従事					渡辺岩雄	男	77	農業		
					H30年2月～	農地利用最適化推進委員										

■大田市農業委員会委員(団体推薦)

番号	推薦を受ける者(被推薦者)									推薦団体等						
	氏名	性別	年齢	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業 者該当の 有無	抱負	名称	代表者等	目的	構成員数	推薦する理由	農地利用最適 化推進委員へ の推薦の有無
							営農類型	耕作面積								
1	武田 穰	男	61	農業	S59年3月 島根県立大田高等学校卒業 S63年3月 私立桃山学院大学経営学部卒業 H7年1月～ H26年1月 H26年8月～ R6年12月 R7年4月～ 農事組合法人(やまべ)理事		水稻	田9ha	無	近年、増加の一途をたどる耕作放棄地。農地は負の遺産化している現実。耕作放棄地発生要因は、農業者の高齢化、後継者不足、先祖伝来の農地に対するこだわりなどがあります。農地利用最適化推進活動を活用して負の遺産耕作放棄地が宝の山となるように地域住民と共に活動します。	大代町 連 合 自 治 会	代表 日向高弘	地域の住民との交流、 防災・防犯	265人	候補者 武田穰氏は、地元産業石州瓦営業職を経て現在、農事組合法人(やまべ)耕作面積9haの理事、将来を嘱望される人材とし現場の作業はもちろん、過去の営業職等、経験を活かして独自の販売網を模索するなど若手のホープとして期待されています。 衰退の一途をたどる中山間地域農業、我が大代町の実態見ると、昔ながらの農業を続けている地域は耕作放棄地が60～80%に達しています。農地有効利用、担い手の育成を図るための熱意など、我が地域の信頼できる候補者として推薦します。	無
2	杉本 勝徳	男	69	農業	S54年3月 拓殖大学政経学部経済学科卒業 S55年4月～ H7年2月 H7年4月～ H29年3月 H30年2月～ R5年4月～ 久利営農組合 理事		水稻 露地野菜	田90a 畑20a	無	地域農業の維持・発展に努めます。	久利まちづくり 推進協議会	会長 高橋英輝	久利町全体が元気で住み よいまちを求めて	427人	農業協同組合、石見農業共済組合に永年勤続されて、農業や地域のことも精通されており指導力も抜群である。令和5年に設立された農事組合法人「久利営農組合」で進める農地の組織化や集約に欠かせない役割を担う方であることから、農業委員として推薦いたします。	無
3	三谷 薫	男	75	農業	H22年3月～ 農業に従事 H26年3月～ 静間用水組合長 H30年2月～ 大田市農業委員 H30年2月～ 営農組合「ゆめファームプラスワン」組合長 R2年5月～ 農事組合法人「かみしずま」理事		水稻 その他	田2,340a 畑3a	無	農作物の耕作に大型農機での作業が増加し、軟弱圃場田がより軟弱化し、作付困難状態で作付休止等が発生している。これを解消するため改良を推進し、作付けの安定化を図りたい。同時に遊休農作物解消と発生防止に努めて参ります。	農事組合法人 かみしずま	代表理事 川上節夫	組合員の農業生産について、協業を図ることにより生産性を向上させ 利益を増進させること。	45人	被推薦者三谷薫氏は、長年にわたり農業に従事し、各種農業団体の役員を務め、リーダーとして地域農業の課題解決に取り組んできた。 特に、農業委員に就任後は、遊休農地の解消に積極的に取り組んでいる。また、農家からの信頼も厚く、今後も活躍が期待できる人材である。 これまでの様々な経歴を活かし、地域農業の牽引者として適任であり推薦します。	無
4	田原洋司	男	65	農業	H11年7月～ 大田市農業委員 H23年6月～ 石見銀山農政会議会長 H24年2月～ 大田市農業委員会会長 H26年10月～ 大田市久手町土地改良区理事長		水稻 露地野菜	田1,730a	有	これまでの経験を活かし、これからの地域計画作成に積極的に参加し、久手地域の将来像を描くとともに、担い手の確保、遊休農地の解消に向けて努力したいと思います。 微力ながら、大田市農業の発展のため尽力したいと思います。	まほろばの久 手田園を守る 会	代表 生越大地	農地維持活動又は資源 向上活動を通じ、大田 市波根西地区に存する 農用地、水路、農道等 の地域資源及び農村環 境の保全並びに水路・ 農道等の施設の長寿命 化を図ることを目的とす る。	46人	田原洋司さんは、水稻やキャベツ等を栽培する専業農家で、久手地域農業の重要な担い手として、日々営農されています。 また、若い頃から大田市久手町土地改良区の理事をしてこられ、現在では理事長として、地権者や市・県とのコミュニケーションを大切に改良区の運営・事業に日々取り組んでおられます。 このことから、久手町の農地等を熟知し、地権者・耕作者等との関係も良好で、農業委員として最適任者であると考えます。	無
5	福田佳代子	女	76	市議会議員	S44年3月 県立農林総合研修所卒業 S44年4月 匹見町農業協同組合 H6年1月～ H30年4月 大田市議会議員 H30年2月～ 大田市農業委員 R8年4月～ 大田市議会議員				無	農業の担い手不足、赤字続きの経営などで農家人口は、年々減少し、食料の自給率も38%と低い。 農家には、赤字にならない生産しつづけられる対策、消費者には低価格で安心して食べられる食料を供給するために力を尽くしたい。	大田農業で元気 になろう会	会長 秦 隆明	大田市の農業を守り、 発展させるために、お 互いに実践を重ね、情 報交換して交換を深め る。	15人	候補者 福田佳代子氏は、島根県農林総合研究所を卒業後、匹見町農業協同組合で勤務経験があり、現在は、大田市農業委員3期目、大田市議会議員として7期目に尽力されています。特に、「農林水産業の発展なくして大田の発展なし」の立場で、大田市の持続可能な農業の在り方を追求し、大田市で近年多く設置されてきた太陽光発電の農地転用にも条例制定の必要性を訴えています。また、農業委員に少ない女性委員として女性の視点で活躍が期待され推薦いたします。	無
6	寺本 辰男	男	68	農業	S52年3月 島根県立江津工業高校卒業 H6年10月～ 大田市森林組合 三瓶木工館入社 R2年7月～ R7年3月 集落営農組合志学南 代表 R7年3月 農事組合法人志学みなみ 代表		水稻	田120a	無	これまでの営農組合、農事組合法人の代表としての経験を活かしながら、農地等の利用の最適化推進などの職務を適切に行い、地域農業活性化のため農業者の負託に応えるべく努力いたします。	志学まちづくり 協議会	会長 杉本 修司	住民が相互に協力し、 各事業を通じて住みよ い町を創出し、行政と密 接な連携を図りながら、 地域の核として自治の 確率を目指すこと。	431人 (221戸)	集落営農組合志学南の代表として、また農事組合法人志学みなみの代表として積極的に、農業経営に取り組んで来られ、志学地区の農業に対しての見識もあり、進んで地域農業活性化にご尽力して戴ける方であります。	無

■大田市農業委員会委員（応募）

番号	応募者										
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業 者等該当 の有無	応募理由	農地利用最適 化推進委員へ の推薦の有無
							営農類型	耕作面積			
1	中尾 祥子	女	47	自営業	H16年3月 H16年4月～ H27年10月 H29年6月 H30年1月 R元年度～ R元年6月 R元年7月 R2年7月～ R2年8月 R2年11月～ R5年2月 R6年2月～	鳥取大学大学院農学研究科卒業 農林水産省 三瓶そば推進協議会立上げ・事務局担当 なかお商会立上げ 鳥取大学非常勤講師（事業計画論等） 島根県農業経営・就農支援センター アドバイザー 三瓶米こだまネットワーク立ち上げ 事務局担当 JGAP指導員 さひめの棚田振興協議会立上げ アドバイザー 池田集落協定運営委員会 アドバイザー 島根県土地改良事業団体連合会理事 大田市農業委員			無	令和6年から農業委員をさせていただいております。この間、池田地区において、農林水産省の農村RMO推進事業を行い、農用地保全について、農業委員と事務局の両方の立場から取り組みを行ってきました。道半ばのことも多いため、引き続き農業委員として、池田地区の農業や農地について考える機会をつくり、農地維持に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えており、応募させていただくこととしました。	無
2	藤間 友章	男	52	無職	H8年3月 H8年4月～ R8年3月	中京大学法学部卒業 旧仁摩町役場 入庁 大田市役所 退職			無	令和8年9月1日に行政書士として登録予定であり、中立委員として応募いたします。 大田市役所在職中は、農地転用の担当者でもあり、その知見を活かして総会で農地法の趣旨に基づき公正・公平な審議に臨みたいと思います。 また、後継者不足等により年々増加する耕作放棄地を少しでも減少させるべく、行政書士として、まずは農地を守ることを前提として、地域における農地相談、あっせん等を促していきたいと考えています。	無
3	戸嶋 総一	男	75	農業	S43年3月 S43年4月 S62年7月～ R元年4月 R2年4月 R5年6月 	遼摩高等学校卒業 農業に従事 大田市農業委員 多面的事業（白坏がんばろう会）代表者 中山間事業本郷集落代表者 祖式土地改良区理事長 水上町連合自治会長 大田市農業再生協議会委員	水稻 露地野菜	田500a 畑50a	有	担い手が少ない中、引き続き、地域のため、高山ブロック等を含め、大田市農業の振興に少しでも手助けし、農家の皆様が生産活力を発揮できるように側面よりサポートし農地を守るため努力したい。	無
4	岩谷 幸子	女	64	団体役員	S58年3月 S58年4月～ S59年2月 S59年3月～ H29年3月 R3年2月～ R4年4月～ R5年3月～ R5年4月～ R7年6月 R7年7月 R7年7月	広島県立農業短期大学卒業 大田市役所 臨時職員 大田市農業協同組合 島根県農業協同組合 大田市農業委員 大田市更生保護女性会事務局 JALまね石見銀山女性部 長久支部長 JALまね石見銀山女性部副部長 JALまね石見銀山青色申告友の会会長 島根県農業協同組合 石見銀山地区本部運営委員 島根県農業協同組合理事	露地野菜 施設野菜	田53a	無	大田市の農地は近年益々減少傾向にあります。農家の高齢化や有害鳥獣による被害、農業後継者不足など問題が山積しています。そのような中で農地を大切に思っている農家の相談相手や力となるために、また地域の農業振興の一助となるため、農業委員として活動したいと考えています。	無